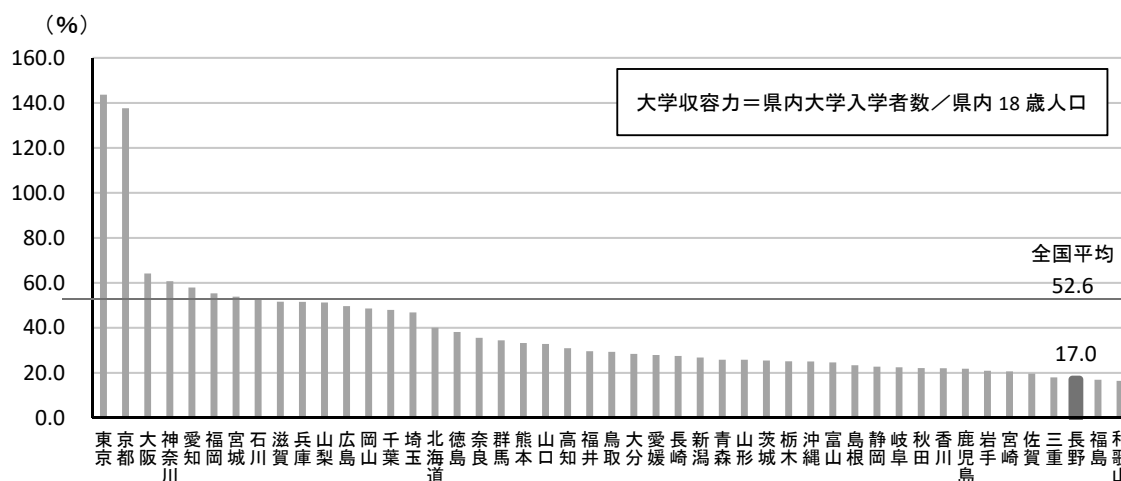


## (4) 高等教育の充実

### 現状と課題

- 県内大学の収容力が全国で最低水準であり、県内の大学進学者の多くが県外に進学しています。
- 県内大学の卒業生の約4割が県外に就職しており、若い世代の人口流出の要因となっています。
- 幅広い豊かな教養教育、実践重視の専門教育、寮生活や海外研修などによる全人教育を行う長野県立大学が、平成30年4月に開学します。
- 県内高等教育機関が持っている知的・人的資源を地域や社会の課題解決に活用することは、より実践的な教育や研究、地域の活性化に寄与するとともに、学生が地域への理解を深めることにつながり、県内への人口定着の契機となるものと期待されます。

図2-(4) 都道府県別 大学収容力 (平成29年度)



文部科学省「平成29年度 学校基本調査」

### 目指す成果

- ◆ 新たな時代を担う様々な資質や能力を備えたリーダーを輩出します。
- ◆ 専門的な知識を身に付け、地域や世界に貢献できる人材を育成します。

## 主な施策の展開

高等教育を充実するために、次のような取組を進めます。

### ① 大学と学校教育との連携

- 中学生・高校生の進学意欲や学習水準の向上のため、県内高等教育機関の教員による出張講義や高校生の大学院での研究体験を実施します。

### ② 大学教育の充実

- 既存大学における学部・学科の再編・新規設置等の大学改革や教育・研究の充実に取り組む県内大学等を支援します。
- 市町村と連携して東京圏の大学のサテライトキャンパス\*等を誘致します。
- グローバルな視野を持ち地域に貢献するリーダーを育成する公立大学法人長野県立大学の円滑な運営を支援します。
- 県内学生の海外派遣への支援や留学生の受け入れの拡充などにより、グローバルな視点を持った人材育成を促進します。
- 県内企業でのインターンシップを促進し、人材育成・定着を支援します。
- 県立看護大学において、医療の高度化・多様化に対応できる高い専門性を身に付けた看護職員を養成します。



長野県看護大学の演習風景

### ③ 職業教育、職業訓練の充実

- 専門高校・公衆衛生専門学校・看護専門学校・福祉大学校・工科短期大学校・技術専門学校・農業大学校・林業大学校において、それぞれの分野の専門的な知識・技術を持ち、地域振興を担う人材の育成に取り組みます。
- 社会全体のニーズに応え、地域を担う人材を育成するため、専修学校・各種学校をはじめとする職業教育機関との連携、支援などを進めます。

### ④ 高等教育機関の知を活用した地域づくり

- コーディネート機能の充実による県内高等教育機関と企業・地域等との連携を支援します。
- 県内高等教育機関を核とした地域産業の競争力の強化や起業の創出、次世代産業の育成、地域課題解決等への支援体制を構築します。
- 地域との連携によるソーシャル・イノベーション\*の創出など、長野県立大学における知の拠点としての取組を支援します。
- 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）\*」を県内大学と連携して推進します。

成果指標

成果指標項目	現 状	目 標	備 考
県内大学の収容力	17.0% (2017 年度)	19.0% (2022 年度)	文部科学省「学校基本調査」

※ 目標の年次は、本計画の最終年度の実績を評価する 2023 年度に把握できるものとしています。

参考指標（施策実施にあたって参考とするエビデンス）

参考指標項目	現 状	分析の視点	備 考
県内大学卒業生の県内就職率	55.9% (2016 年度)	県内就職者数が増加していくこと	私学・高等教育課調べ

特色ある取組

その流れはやがて世界へ ～長野県立大学開学～

平成 30 年 4 月開学の長野県立大学は、グローバルな視野を持って、長野県に軸足を置き、社会で活躍できるリーダーの育成を目標としています。

長野県立大学は、グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科と健康発達学部食健康学科、こども学科の 2 学部 3 学科で構成されます。グローバルマネジメント学科は、企業経営や公共経営に関する専門的知識を修得し、新たな事業を展開していく企画力や行動力を持った地域社会のリーダーを育成します。食健康学科は、栄養学を中心とした専門知識・技術を習得し、食を通じた健康のプロフェッショナルを育成します。こども学科は、こどものより良い発達環境・教育のあり方を追求し、専門性と実践力を持った保育士や幼稚園教諭を育成していきます。

1 年次には、大学で必要となる基礎能力を養うための発信力ゼミや週 4 回の英語の授業を必修としたほか、授業外においても主体性や社会性、対人関係形成能力を養うため、全寮制とすることとしました。2 年次には、全員が海外において専門領域を学びグローバルな視野を身に付けることができるよう、2 週間から 4 週間の短期研修を行うこととしています。

また、開学と同時に産学官連携や地域との連携を担うソーシャル・イノベーション創出センターを立ち上げました。大学内外の多様な人と知的資源とを結びつけ、ソーシャル・イノベーションに挑戦する人材を育て、支援することとしています。

